

第三管区海上保安本部長 ご挨拶

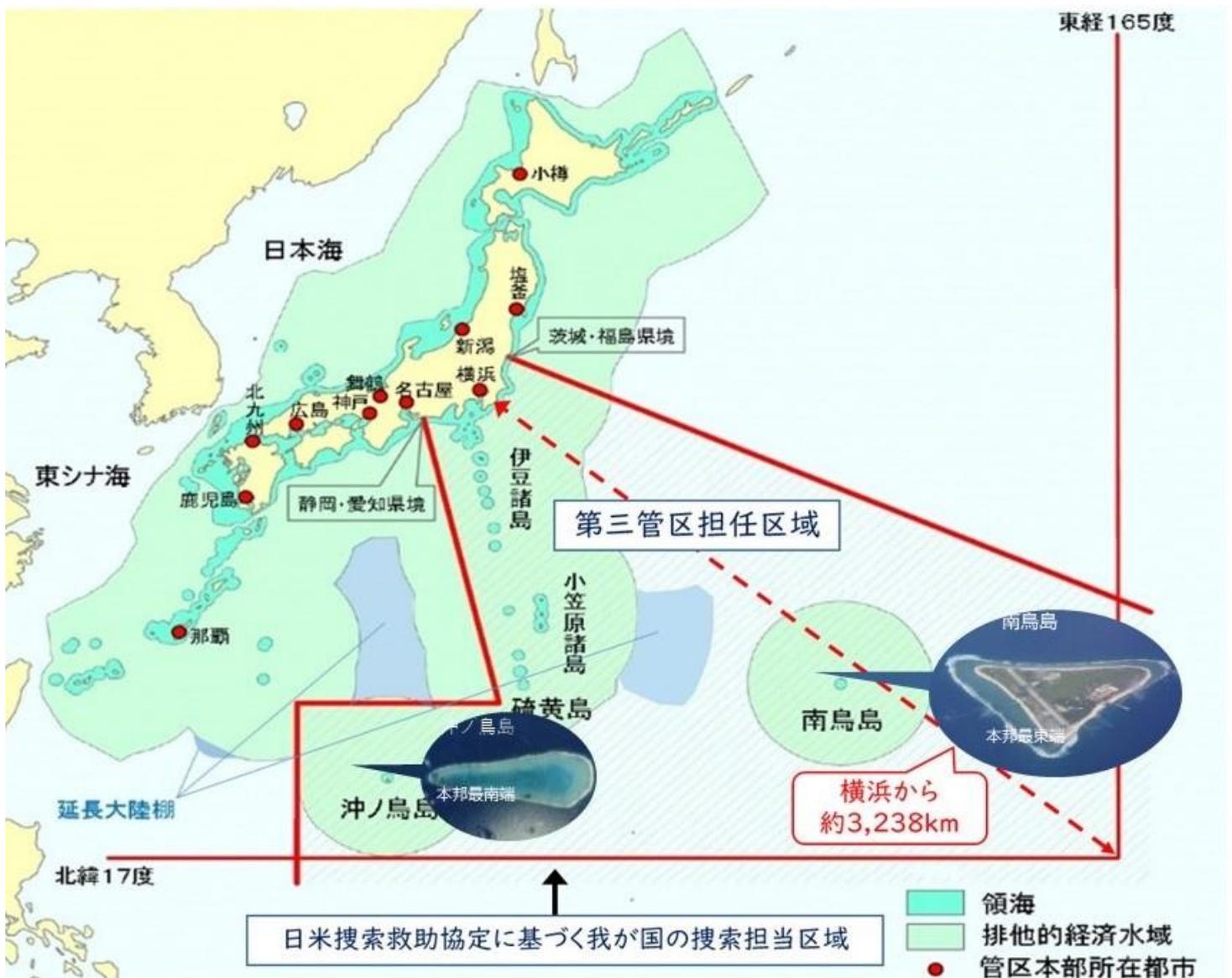
第三管区海上保安本部のホームページをご覧くださいまして、ありがとうございます。

皆様は、ショートムービー「海上保安官物語」をご覧くださいましたでしょうか。この作品は、令和7年6月2日に、放送業界における国内最高の栄誉とも称される放送批評懇談会のギャラクシー賞 CM 部門「選奨」を受賞しました。物語の構成は、それぞれ妻・兄・父でもある3人の海上保安官が織りなすドラマ仕立てのオムニバスストーリーで、それぞれ1作品が3分程度、3作品合わせて10分程度のショートムービーとなっています。皆様の知らない海上保安官の日常がユーモアを交えて描かれており、視聴後、“じわっ”とくる気持ちになります。ぜひご覧いただきたいと思います。

リンク先：[海上保安庁公式 YouTube](#)



この作品に描かれたような海上保安官たちが、海上における治安の維持及び安全の確保ため、作品の舞台である第三管区の広大な海域（下図）において、24時間365日、様々な海上保安業務に従事しています。



様々な海上保安業務の中でも、三管区の業務としては、とりわけ、

- 広大な遠方海域や漁業やマリレジャー等が活発な沿岸海域での海難救助及び安全対策
- 世界有数の船舶交通が過密な東京湾及びその周辺海域での交通の安全の確保
- 首都直下地震や南海トラフ地震に備えるほか、激甚化する自然災害への対応
- 首都圏を背後に抱える中でのテロや密輸・密航等の治安対策、犯罪捜査
- 伊豆諸島や小笠原諸島等の離島支援
- 領海及び排他的経済水域での違法外国漁船や外国海洋調査船等の監視・警戒や取締り
- 海洋調査や海洋情報・安全情報の提供
- 諸外国関係機関との連携や国際協力等の業務

が挙げられます。

また、高度な知識・技術を必要とする特殊な海難に対応する海難救助のスペシャリストである「特殊救難隊」と、専門的な知識と技術により油や有害危険物質の流出事故等に対応する「機動防除隊」は、三管内のみならず、全国で発生する重大な事案にも対応しております。

本年は、特殊救難隊は発足から50年、機動防除隊は30年の年になります。



転覆した船舶の上に乗る救助活動を行う特殊救難隊員



防護服を着て有害ガスの検知を行う機動防除隊員

海上保安庁においては、こうした現場での海上保安官の活動などについて、SNSで発信しておりますので、こちらもぜひご覧いただきますようお願いいたします。

【リンク先】

[第三管区海上保安本部公式X](#)

[海上保安庁公式X](#)

[海上保安庁公式 Instagram](#)

近年、ますます海を巡る問題が複雑多様化しグローバル化するなか、地域・国民の皆様からの協力と応援を励みに、「平和で美しく豊かな海」を守り続けるため、大久保武雄初代海上保安庁長官が創設時に職員に述べた「正義仁愛」の精神のもと、職員一致団結し、全力で業務に邁進する所存でありますので、引き続き、海上保安業務にご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第三管区海上保安本部長

赤松 宏樹